

## 【令和6年度 指導の重点】

○義務教育学校ならではの教育課程を編成する

・本校の特色を生かす

：地域の教育力　：異年齢交流　：外国語活動　：制服自由化

※PDCA サイクルで回す⇒学期毎に振り返る

○学力向上

「非認知能力の向上 ～自己効力感に特化した研究～」

・県学力・学習状況調査の分析と活用

・ポジティブな声かけなど、毎日の小さな取組みの実践

・タブレット端末を活用した思考を深める授業

○異年齢交流活動の推進

「慈愛と敬愛の念を育む」

・きょうだい学級の導入

・学校行事等における意図的・計画的な交流活動

・感動と成就感が得られる豊かな体験活動の実施

・児童生徒会主催の異年齢交流活動の推進

※小学校5年生からの部活動の参加(任意)

○社会に開かれた教育課程

「学校課題や成果を発表するとともに、地域の教育力を活用する」

・地域学校協働本部との連携強化

・学校ホームページを活用し、教育活動を内外にPR

・アメリカ・ミシガン州の学校との交流

○校内研修の充実　年間 23 回予定

「子どもの学びの向上に繋がる研修を実施し、教職員の資質・能力の向上に努める」

・研修課題を教職員から募集し、自分事として捉えた研修を、計画的・組織的・継続的に行う。

○児童生徒会活動

「異年齢の児童生徒同士で協働しながら諸課題を解決していく過程で自治力を高めていく」

・異年齢交流活動の企画・運営

・委員会活動等を通じて学校づくりに参画